自己評価票

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I.	理念に基づく運営			
1. 基	里念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を身につけ常に心かけている。 1,その人らしさを大切にします。 2,安心と喜び、優しさ、ぬくもりを大切にします。 3,地域、家族の結びつきを大切にします。 又この地方の地名である「半布里」をもとに 通称「はぶりの宿」として親しみやすくしています。		
	○理念の共有と日々の取り組み			
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	理念にそったケアが出来ているか管理者、職員間でいつも話し合い、皆が一丸となって共有し取り 組んでいます		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域住民にGHを理解してもらえるよう、集会に 出向き 説明したり、ホームで行なわれるいろい ろな行事に家族の方、地域の人々を招いて交流の 機会を持てるように 努力し行なっている。利 用者さん、家族の方々、地域の 人々が顔なじみ になってきている。		
2. ±	也域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている	地域の人々から野菜、季節に合った食材をいただいたり、お家に出向いて収穫させていただいたり、お茶会に招待されたりと色々気軽に声をかけてくださる。又逆にホームでの行事に招待したり、喫茶店、温泉などに一緒に出かけたりと盛んに付き合いが出来ています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている	自治会総会に出席できた事は門が開けた。年3回 の祭礼にて神社参拝、月1回の弘法様まいり、慰 霊碑参拝と交流が出来ています。	0	現在自治会には入っていなく、今後 自治会、老 人会、地域活動の参加をどのようにしていくかは 皆で話し合いすすめてゆきたいと思っています。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	グループホームとして地域の中での役割は何か皆 で話し合い、情報を出し合って検討しています。			
3. ∄	里念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価実施後すぐ改正、改善できる事は行なっています。評価はGH内だけでなく母体の老健の方へも回覧し、多くの人の意見を取り入れ改善に取り組んでいます。			
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	2月に一度運営推進会議を行っています。地域住民の意見が聞けそれがサービス向上につながっている。皆さんから多くの意見が聞けて大変ありがたく思っております。			
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	地域ケア会議(月1)に参加し、意見交換を行うことにより良い情報を得ることが出来る。市町村担当者、包括センターよりの訪問又社会福祉協議会へ出向て意見を聞く等サービスの質の向上に取り組んでいます。			
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人に はそれらを活用できるよう支援している	現在必用としている利用者さんはいませんが研修 に参加し権利擁護に付いての知識を得る努力を職 員一同で行なっています。			
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修会に参加をし学び、皆で虐待の意味を再認し、虐待とはどのような事をいうのか項目をあげ理解し、日々の中で少しでも疑問に思うことは皆で検討しあって防止に努めています。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. I	里念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	時間をかけ本人、家族の方に十分に説明し、納得 していただけての入所となるようにしています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族の方々が気軽に不満、苦情を言えるような職員、グループホームの雰囲気作りに努め、家族の方々と常に意見交換を行いそれを運営に反映させています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	御家族の面会が頻会にありその都度利用者さんの 御様子をお話しし、少しでも変化がある時はその 都度 電話連絡しています。又月1回通信を送っ ています。	0	遠くて面会になかなか来れない家族には手紙で御様子を知らせておりますが、今後面会に来られない御家族のためにも毎月全利用者家族に通信と共に御様子を書いて送りたいと思っています。又金銭管理報告書も1年に一度だけでなく毎月使用明細を送りたいと思います。
15		常にご家族に意見を言いやすい雰囲気作りに努め、苦情受付に付いてのパンフレット配布及び説明を行なっています。	0	詳細な説明がもっと必要かと思います。
16		管理者は常に自分の意見を押し付けることなく、 常に 職員一人ひとりの意見や提案を大切にし 皆で話し合っています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員 を確保するための話し合いや勤務の調整に 努めている	常に話し合いを行っています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動による利用者への影響が無いように運営者に要望し聞き入れてもらってます。又職員同士の心がけ、思いやりを大切に仲良く話し合う事で支えていくようにしています。		
5. /	人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	新人研修、勉強会、委員会、伝達講習会等参考になる。 研修会が勤務にあたり参加できない時は 勤務交代をし参加できるようにしています。又特 定な職員が参加するのではなく皆平等に参加でき るようにしています。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	GH協議会支部会において他のグループホームの 方の意見が聞けサービスの質の向上につながって います。他のグループホームからの見学も時々あ ります。	0	もっと同業者との交流を図りたいと常に思っていますがどのようにネットワーク作りをしたらよいか検討中です。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	管理者、職員の隔たりを無くし常に話し合いが出来るような雰囲気作りに努めている。又慰安旅行、食事会、親睦会などにより話し合える機会を設け取り組んでいます。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	楽しく働ける環境作りに取り組んでいます。職員 同士のチームワークが取れ、よい所を生かせるよ うな声かけが伺える。よく創意工夫が出来ている と思います。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
II .5	Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 木	目談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族、他機関からの情報を職員が把握しており コミュニケーションをとりながら、本人さんの気 持ちを受け止めその時にあった言葉掛けをし、信 頼関係を築く様な方向で努力してます。				
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること 等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学相談→入居相談→入居という流れで家族とのかかわりをもっている。来訪時には話しやすい雰囲気をかもし出せるように努めている。管理者だけでなく、いつでも誰でも対応できるよう職員間で話しあっています。				
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に応じて適切な対応が出来るよう、常に支援 の仕方、どのようなサービスがあるかなど情報を 得るよう努力しています。				
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを 利用するために、サービスをいきなり開始 するのではなく、職員や他の利用者、場の 雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談 しながら工夫している	まずはグループホームの雰囲気に慣れていただく ためにいきなり入所という形を取らず、日帰りの 数時間からはじめ徐々に慣れていただき、納得し てから入所していただくように利用者、家族、職 員間で相談しながら行なっています。				
2. 兼	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共 にし、本人から学んだり、支えあう関係を 築いている	共に暮らすという意識を常にもって双方が支え あっている。馴染みの関係もすばらしい。一緒に 過ごす時間を大切にしている。楽しむレク、解ら ない事や、困った時人生の先輩としての問いかけ 話しの場つくりを学んだりしている。作業を通し てもより良い関係が出来ています。				

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	いつも利用者、ご家族、職員が笑顔での会話の機会が多く見られる。外出時などご家族の方から積極的に参加をしてくださり、利用者、ご家族、職員が共に支え有っているという実感がします。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	ホーム内での事を家族に詳しくお話ししている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	同窓会への出席支援(月一度)、元の職場の同僚 の訪問 馴染みの美容院を利用、墓参りなど馴染 みの関係が途切れないように努力しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	利用者さん同志で馴染みの関係が出来ており、作業を行ないながら昔話に花が咲いている。一人孤立しそうな利用者に対しては職員が話しかける事はもちろんであるが、他の利用者さんが気遣い話しかけるよう光景が良くみられます。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している	退所されると関係が途絶えることが多いですが、 電話で現在の御様子を伺うことは行なっていま す。 又ご家族の了解を得て面会に行く などしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
ш.	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネ	ジメント			
1	-人ひとりの把握				
	○思いや意向の把握				
33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	良い暮らしとなるよう日常生活のアドバイスを常 に行なっている。第一に本人の思いを大切にする ということが職員全員が理解しあっています。			
	○これまでの暮らしの把握				
34	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	生活歴、生活環境の把握に努めている。 アセスメントを大切に共有し詳しく記録するよう にしています。			
	○暮らしの現状の把握	日常生活の中に刺激があり作業を行い、活気のあ			
35	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	る日常生活がなされている。一人ひとりの現状を 把握している。職員間の伝達がうまく取れてお り、サービス向上につながっています。			
2. オ	5人がより良く暮らし続けるための介護計画の作	成と見直し			
	○チームでつくる利用者本位の介護計画				
36	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の思い、意見を取り入れ職員間で話し合い意見を出し合い、利用者さんが「その人らしく」暮らせるように介護計画を作成しています。			
	○現状に即した介護計画の見直し				
37	介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	ケアプラン会議を行ない多くの意見を出し合い、 又定期的に見直しを行なっています。急変時には それに適した介護計画を立て直し作成していま す。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	個別記録の記入あり。個別サービス記録も作成している 特に不穏状態にある人の実践記録ノートがあり又日常的に気付きや言動を詳しく個別に記録し、介護計画作成や見直しに活用しております。		
3. 🖠	・ 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な	グループホームとして又介護職員、介護支援専門 員として情報を収集活用し、少しでも支援できる ように努力しています。		
	支援をしている			
4. 2	よ人がより良く暮らし続けるための地域資源との↑ ・			
40	○地域資源との協働本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	外田時にホフンディアさんの協力を得て行なったり、消防署による非難訓練指導を受けたり、農協職員さんには火災、災害発生時の救助要請をお願いし了承を得ております。又小中学校の生徒さんたちによる年間数度の「ふれ合い」に訪問してくださったり、招待され運動会、合唱際などに行ったりしております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他 のケアマネジャーやサービス事業者と話し 合い、他のサービスを利用するための支援 をしている	地域包括センターより時々訪問あり 推進会議、地域ケア会議時にも情報交換あり、 ホームで困っている事を相談したりサービス向上 につながっております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	地域ケア会議にて情報交換が活発に行なわれ、相 談にも応じて良いアドバイスをいただけておりま す。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を受けられるよう に支援している	本人、ご家族の希望に添って昔からのかかりつけ 医への受診をおこなっております。定期受診は診 療所で行ないますが、特変時、急変時にはかかり つけ医、または協力病院へ受診します。ご家族の 都合が悪い場合は職員が同行し結果はご家族へ詳 細に伝えております。	0	もっと専門医への定期受診を取り組んで行きたい。胸部レントゲン、歯科は年一回の定期受診をくけているが眼科、皮膚科等の定期受診を取り組んでゆきたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築 きながら、職員が相談したり、利用者が認 知症に関する診断や治療を受けられるよう 支援している	ご家族に相談し定期的に認知症専門医に受診できるように支援しております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	老健の看護師長、利用者さんをいつも診ていただいている診療所の看護師に相談し、支援につながっていると思います。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせる よう、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備 えて連携している	入院された場合は1ヶ月は居室を空けて待っております。家族の方と病院へ伺い病院関係者と情報交換を行ないご家族と退院へ向けての相談を行なっております。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につい て、できるだけ早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合 い、全員で方針を共有している	入所時にお話ししたり、現在入所されておられる 方については家族、職員間で話し合いが出来てお ります。	0	もう一度職員、家族間で話し合い、取決め方針を 明確にしてゆきたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く 暮らせるために、事業所の「できること・ できないこと」を見極め、かかりつけ医と ともにチームとしての支援に取り組んでい る。あるいは、今後の変化に備えて検討や 準備を行っている	本人、ご家族が不安になられないように常に話し 合いを行なっています。	0	グループホームとしてできること、出来ない事を 明確にする必要があり再検討したいと思います。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
	○住み替え時の協働によるダメージの防止				
49	本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	ご家族を交えて職員間で話し合い情報を持ち合って検討し、良い支援が出来るように努力しています。			
IV.	その人らしい暮らしを続けるための日々の支	援	•		
1. ₹	その人らしい暮らしの支援				
(1)	一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底				
50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者さんを人生の先輩として尊敬し、プライバシーに十分配慮した言葉かけを行うように注意しております。 記録等の個人情報取り扱いにも十分注意し守秘義務を徹底しております。			
<u></u>	○利用者の希望の表出や自己決定の支援	小さなことでも自分の気持ちが表せるように働き			
51	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	かけている。自己標示がうまく出来ない方へは思いを引き出せるような声かけを常に行い、職員、利用者さんとで共感しあいながら暮らしています。喜び悲しみを皆で分かち合いながらの暮らしが出来ています。			
	○日々のその人らしい暮らし	利用者さんから気軽に要望が出てきており、それ に付いて職員間で話し合い希望に添った暮らしが			
52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るように支援しております。殆どの方が外出を希望されモニング、外食、ドライブ、音楽療法、弘法様参り、音楽、太鼓、歌踊りの鑑賞など1月に10回ほど外出を行なったり、毎年1泊旅行、日帰り温泉など行っております。			
(2)	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	本人の望む美容院に行き、カット、パーマでいつまでもその人らしくいていただけるようにしています。 希望者にはマニュキュアをしたり、日常の洋服でもおしゃれをしていただけるように支援しています。			

			○卸		
	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
	○食事を楽しむことのできる支援	収穫の喜びといただくことへの感謝から食事作り は大変賑やかである。 利用者の負担にならない			
	食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをしてい る	ように声掛け協力を呼びかける。よく出来ている。 役割分担が出来ており立位での作業ができる方が少なくなってきていますが座っておしゃべりしながらの食事の準備が楽しく出来きております。			
	○本人の嗜好の支援				
55	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みの物を一人ひとりに合わせられるように工夫 し、時には利用者さんと一緒に作り楽しめるよう にしております。			
	○気持よい排泄の支援	排泄チェック表により把握し失禁を防いでいる。			
56	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その人の排泄パターンを知る。 入所時に下剤等服用している方は食事療法、運動、外出等により自然排便が出来るように支援し成果を得ています。			
	○入浴を楽しむことができる支援	曜日は決めておりませんが、その人の好む湯温に			
57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	したり、季節を味わっていただけるよう、バラ 湯、菖蒲湯、 桃の葉湯、ゆず湯などの工夫をし 楽しめて入浴していただけるように支援しており ます。			
	○安眠や休息の支援	夜間は定時に眠りにつけるよう安心感を与える。			
58	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	日中の活動時間を考え夜はよく休んでいただけるようにする。 今年の夏は「お昼ねタイム」をつくり実施しました。			
(3)-	(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	天気の良い日は外出、ドライブ、畑に出る、外気浴にて歌を唄う。 その人の役割が出来ていて生き生きとされている。 よく出来ていると思います。 しいたけ栽培も行なっており、収穫は楽しみの一つです。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	買い物に出かける。各自の財布にお金を入れてレジの清算時は職員が見守る。お金を日常所持されている方は2,3人。美容院、旅行先での支払いは自分の財布から出してもらう。その後は事務所預かりとなる。その人により工夫した支援をしています。	0	預かり金の台帳はつけているが、その使用明細書は12月末に1年分の領収書と共にご家族に送っているだけのため 今後は毎月、使用明細書を送るようにしたいと検討しました。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	天気の良い日に散歩、ホーム池の木陰で流しそうめん、田楽、食事をしたり、外食、喫茶店、弘法様参り、慰霊碑参り、ドライブ、町内のタウンホールへ踊り、歌の鑑賞と体調に合わせた外出をたくさん行なって楽しんでおります。		
62	○普段行けない場所への外出支援一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎年一泊旅行を行なっておりますが19年5月には ご家族同伴で殆どのご家族、それも御夫婦でも参 加してくださり大人数で行きました。また外食に もご家族参加してくださったり、お墓参りなども 盛んに行なわれております。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	母の日のプレゼントの御礼の手紙や電話、また本 人が希望される時は電話を気軽に掛けれるように 支援していますが、高齢になると共に聞き取りが できにくくなってこられた方も多くなっていま す。手紙を受け取られた娘さんがまだ手紙が書け ることに大変喜ばれました。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	家族の方、知人、友人、老人クラブによる友愛訪問も 気軽に来て頂ける環境作りをしている。 笑顔をモットーに何方もお迎えしている。 座っていただけるスペースも十分用意工夫しています。 ご家族だけでなく知人、友人の訪問も多くいつも楽しい会話が聞こえてきます。		
(4)	安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	拘束に付いて項目を掲げ、皆で常に確認しあっています。玄関には鍵をかけず見守りを常に行い安全確認しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵はかけていないが、職員が手薄になる17:15〜翌朝7:00までは安全の為鍵をかけるようにしています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	守秘義務を守り安全に配慮している。 常に利用者さんの言動を見守り安全確認を行なっ ている。 カルテの表紙は名前を記入せず、番号を記入し表 からわからないように、また保管場所にも配慮し ています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	危険物、裁縫道具の針、庖丁、洗剤、鋏等の管理 は数量、保管場所を決め目の届かないところに保 管し使用する時だけ出すようにしている。利用者 さんにもそれが浸透している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	通路に物を置かない、水等すべるものがある時はすぐにふき取る。台所はオール電化になっている。また薬を入れている場所には鍵をかける等事故防止に取り組んでいる。避難訓練を毎月9日に行ない、状態を記録しています。 些細な事もヒヤリ、ハットに記入し事故防止に取り組んでいます。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	毎年救命救急法や応急手当法の研修に参加し、実際に行なったり定期的な勉強会を行なっています。また常に急変時の対応を職員間で確認しあっています。毎月独自の避難訓練(火災、地震、消火訓練)も良く出来ていると思います。非常食の準備は現在検討中です。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	JAの職員さんとは協力体制が出来ております。	0	地域の人々への協力依頼の働きかけが出来ておりませんので今後検討する必要があると思います。また J A の方の協力体制へのお願いも今一度行いきちんとした取決めを行なってゆきたいと思います。また夜間時の職員の非常招集にかかる時間が把握できていないため一度夜間に行う必要があるかと思っております。

	版 19 47 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○リスク対応に関する家族等との話し合い			
72	一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	利用者さんが自由に自分らしく暮らしていただけるよう支援し、それに伴うリスクに付いて家族との十分な話し合いが出来ていると思います。		
(5)-	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
	○体調変化の早期発見と対応	その日の異変は速やかに家族に連絡し、体調の変		
73	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	化のある時は細かくチェックし記録する。 バイタル測定、検温等確実に行うことを徹底して おります。またそれを職員全員に伝達、共有し異 変の早期発見に努めております。		
	○服薬支援	毎月診療所より出していただく薬の説明書を確		
74	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎月診療所より出していただく楽の説明書を確認、把握し、よく症状を観察する事により過度の投薬をなくし又逆に服用するなど行い良い服薬支援につながっていると思います。		
	○便秘の予防と対応	排泄チェック表により行なっている。		
75	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事の工夫、運動、水分調節、外気浴、散歩、外 出等行うことにより皆さん改善でき、下剤等服用 しておられる方は一人も居ない。大変良く出来て いると思います。		
	○口腔内の清潔保持	毎食後口腔ケアを行いいつも清潔にいられるよう		
76	ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	支援しております。一人ひとりに応じた声かけ、 見守り、介助によりいつも清潔に保てていると思います。		
	○栄養摂取や水分確保の支援	カロリー計算を行なっている。		
77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の少ない方、食の進まない方にはそれに応じた補食を行なっている。水分量は様子を見ながら不足している方には好みの飲み物、飲みやすいものなどを勧めて十分摂取できるようにしております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している (インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員間で取決めを確認しています。インフルエンザ、ノロウイルス流行時の外出、来訪者の出入り禁止、手洗い、うがい施行 清潔保持には十分な気配りをしている。 外出後の手洗い、うがい施行も確実にしていただくように支援しております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理道具の毎日の消毒、冷蔵庫の食品管理を行い 台所はいつも清潔に保つように努めております。 またいつも新鮮な物を使用し、生ものは火を通す ように食中毒予防に努めております。		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム周りは植木や花の自然に包まれた環境であり、池のほとりには安全で緑豊かな散歩道もあり 心が和んでくるような工夫がしてあります。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	居室入り口には夏は涼しそうなのれんがある。 リビングには手作りの藍染がかかる。リビング出窓には緑いっぱいの植物が癒してくれる。リビングの広い窓から緑豊かな外を眺めることが出来、 雪、落ち葉、雨、桜、などにより季節や時間を感じとり話題も豊富になります。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中央リビングは数名の方には最適な場所と言える。 見え隠れする所にゆったりと過ごせるようだ。 玄関ソファにも思い思いに過ごせる場所があり、利用者さんそれぞれが安らぐ場所を自分で見つけておられるように思います。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい部屋作りが見られます。本人の希望に任せ本人が家族と相談しながら壁などに写真を貼ったり、花鉢が置いてあったり、また使い慣れた椅子があったりと馴染みのもので飾られ、落ちつき、安心して暮らせるように工夫されています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝 換気を早番が窓を開けて行なっている。 (雨で無い限り) エアコンによる温度調節も行ない、衣類でも調整するようにしています。衣類の調節を自分で出来ない方には職員の声かけにより行なっています。		
(2):	(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手すりが十分に取り付けられ安全である。また長い廊下では歩行訓練も活用できて良い。段差も無く安全に配慮してあります。自由に広いベランダに出て外を眺めたりされる光景がよく見られます。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	失敗しても良い、間違ってもいいからと忘れかけている特技を生していただけるように働きかけています。裁縫、和裁、梅干作り、お茶葉作り、干し柿作り、台所仕事などそれぞれにあった力を発揮できるように支援しております。		
87	○建物の外周りや空間の活用建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	池の鯉や鴨のえさやり、池のほとりの散歩道(避難路)での食事、流しそうめん、田楽など季節を感じての食事、ベランダにおいては昔の古道具を利用しての梅干ほし、お茶葉ほし、乾燥野菜作りの干し場になったり、お茶を楽しんだりと色々と活用できております。		

部分は外部評価との共通評価項目です)

▼. サービスの成果に関する項目					
項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方 の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の②利用者の2/3くらいの③利用者の1/3くらいの④ほとんど掴んでいない			
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ご す場面がある	○ ①毎日ある②数日に1回程度ある③たまにある④ほとんどない			
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らし ている	○ ①ほぼ全ての利用者が②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない			
91	利用者は、職員が支援することで生き生 きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない			
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出か けている	①ほぼ全ての利用者が○ ②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない			
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で 不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない			
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じ た柔軟な支援により、安心して暮らせて いる	○ ①ほぼ全ての利用者が②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない			
95	職員は、家族が困っていること、不安な こと、求めていることをよく聴いてお り、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と②家族の2/3くらいと③家族の1/3くらいと④ほとんどできていない			
96	通いの場やグループホームに馴染みの人 や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように②数日に1回程度③たまに④ほとんどない			

項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る	①大いに増えている○ ②少しずつ増えている③あまり増えていない④全くいない		
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が②職員の2/3くらいが③職員の1/3くらいが④ほとんどいない		
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が○ ②利用者の2/3くらいが③利用者の1/3くらいが④ほとんどいない		
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が○ ②家族等の2/3くらいが③家族等の1/3くらいが④ほとんどできていない		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・山の木々、草花等自然豊かな場所にあり、公園も近くにあり皆さんが昔やって来られた事を活かしながら生活できている。作業により皆さんが生き生きと 暮らせる。又、ホーム内に閉閉じこもらず、体調に合わせて外出をしている。
- ・昔からの行事(行事食作り、手仕事、漬物、お茶作りなど)を大切に、昔を振り返りそれぞれの生活体験を活かしている。
- ・とても恵まれた環境の中で通称「はぶりの宿」と名し、地域に馴染み親しみ近くの半布里公園、散歩に出かけます(10分ゆっくりペース)途中、戦没者慰霊碑の前で手を合わせ、おやつ又は弁当持参してお出かけ気分を満喫しております。